

仙台市事業所実態調査

<留意事項>

名称に支社・支店名が記載されている場合は、以下のすべての設問について、当該支社・支店に限定してお答えください。

1 企業概要に関すること

設問1－1 貴社の概要を2025年10月1時点でご記入またはあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

なお、名称に支社・支店名が記載されている場合は、当該支社・支店に限定してお答えください（以下設問も同様です）。

(1) 創業年 ※1	西暦 年			
(2) 代表者	【年齢】			
	1. 30歳未満 4. 50～59歳 2. 30～39歳 5. 60～69歳 3. 40～49歳 6. 70歳以上			
(3) 従業員数 ※2	【性別】			
	1. 男 2. 女 3. 回答しない			
(3) 従業員数 ※2	区分	常用雇用者		臨時雇用者 ※4
		正社員等	正社員等以外 ※3	
	男 (うち外国人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
女 (うち外国人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)	
(4) 資本金	1. 個人事業主 4. 1,000～5,000万円未満 2. 100万円未満 5. 5,000万円～1億円未満 3. 100～1,000万円未満 6. 1億円以上			
(5) 年間売上高 ※5	1. 1,000万円未満 6. 10～20億円未満			
	2. 1,000～3,000万円未満 7. 20～50億円未満			
	3. 3,000～5,000万円未満 8. 50～100億円以上			
	4. 5,000万～1億円未満 9. 100億円以上			
	5. 1～10億円未満			

※1 法人設立以前から創業している場合は、その創業（事業を始めた）年をお答えください。

※2 出向・派遣を除き、該当する従業員がいない場合は「0」と回答してください。

※3 契約社員・パート・アルバイトの人数をお答えください。

※4 常用雇用者以外の雇用期間が1か月未満または日々雇用の人数をお答えください。

※5 直近決算期の年間売上高をお答えください。

設問1-2 現在の主たる業種（原則として、日本標準産業分類の大分類に基づくもの）について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

※日本標準産業分類の詳細については、下記をご参照ください。<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>

※「卸売業、小売業」に該当する方は、中分類の「卸売業」又は「小売業」のいずれかの業種を選択してください。

※「宿泊業、飲食サービス業」に該当する方は、中分類における「宿泊業」の方は「宿泊業」を、「飲食店」及び「持ち帰り・配達飲食サービス業」に該当する方は「飲食サービス業」を選択してください。

1. 鉱業、採石業、砂利採取業	10. 不動産業、物品賃貸業
2. 建設業	11. 学術研究、専門・技術サービス業
3. 製造業	12. 宿泊業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13. 飲食サービス業
5. 情報通信業	14. 生活関連サービス業、娯楽業
6. 運輸業、郵便業	15. 教育、学習支援業
7. 卸売業	16. 医療、福祉
8. 小売業	17. サービス業（他に分類されないもの）
9. 金融業、保険業	18. その他（ ）

2 経営状況に関すること

設問2-1 直近3年間の売上及び営業利益の推移について、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号でお答えください。

売上推移		営業利益の推移	
------	--	---------	--

以下からお選びください

1. 増加（+60%以上）	6. 増加（+0%～+5%）	11. 減少（△20%～△40%）
2. 増加（+40%～+60%）	7. 変わらない	12. 減少（△40%～△60%）
3. 増加（+20%～+40%）	8. 減少（△0%～△5%）	13. 減少（△60%以上）
4. 増加（+10%～+20%）	9. 減少（△5%～△10%）	14. その他（ ）
5. 増加（+5%～+10%）	10. 減少（△10%～△20%）	

設問2-2 3年前（2022年）と比べて、同じ商品・サービスを提供するためのコスト（①コスト総額、②原材料費、③労務費、④燃料・光熱水費）はどれくらい上昇していますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号でお答えください。

①コスト総額		②原材料費		③労務費		④燃料・光熱水費	
--------	--	-------	--	------	--	----------	--

以下からお選びください

1. 5%未満の上昇	4. 15%以上～20%未満の上昇	7. 40%以上～50%未満の上昇
2. 5%以上～10%未満の上昇	5. 20%以上～30%未満の上昇	8. 50%以上の上昇
3. 10%以上～15%未満の上昇	6. 30%以上～40%未満の上昇	9. 低下している、変わらない

設問 2－3 直近 3 年間（2022 年以降）において、商品・サービスへの価格転嫁の状況について、コスト上昇分のうち、どれくらい価格転嫁できていますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つ選び、番号でお答えください。

①コスト総額		②原材料費		③労務費		④燃料・光熱水費	
--------	--	-------	--	------	--	----------	--

以下からお選びください

1. 全額転嫁している	5. 0～2 割未満を転嫁している
2. 8 割～10 割未満を転嫁している	6. 全く価格転嫁できていない
3. 5 割～8 割未満を転嫁している	7. コストが上昇していないため、価格転嫁が不要
4. 2 割～5 割未満を転嫁している	

3 経営方針・事業に関すること

設問 3－1 2030 年までの自社の成長に関する意向について、あてはまるものを 1 つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 早期に高い成長を実現したい | 3. 成長にこだわらず現状を維持したい |
| 2. 時間をかけて安定的な成長を実現したい | 4. 衰退期にあり現状維持は困難 |

設問 3－2 2030 年までの経営方針について、あてはまるものを 1 つ選び、番号に○をつけてください。なお、ここで言う「事業」とは企業が営む経営活動全体（販路拡大、生産能力増強、多角化、差別化等含む）を指します。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 事業を拡大していく予定 | 3. 事業拡大する意向がない |
| 2. 事業拡大したいが、経営資源がないため拡大できない | 4. 未定 |

→ 【設問 3－2 で、「2. 事業拡大したいが、経営資源がないため拡大できない」を選択した方のみ】

設問 3－3 事業を拡大できない理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | |
|--|
| 1. 人材が不足しているため
（不足する概ねの人数と内容を具体的に： ）
例：経営企画○人、営業○人、後継者や経営に関する相談相手等 |
| 2. 資金が不足しているため |
| 3. 自社が属する業種の成長が見込めないため |
| 4. 具体的な成長事業を立案することができないため |
| 5. その他（ ） |

設問 3-4 2030 年までに新たに実施または強化したい主な取り組みについて、特に重視したい順に上位 3 位までを番号でお答えください。

1 位		2 位		3 位	
-----	--	-----	--	-----	--

以下からお選びください

1. 経営方針の見直し・作成	6. IT 化・DX	11. 新卒採用の強化
2. 商品・サービスの開発	7. 他事業者との協業・提携・連携	12. 中途採用の強化
3. 顧客満足度の向上	8. 産学連携（大学等）	13. 多様な人材（性別・年齢・国籍等）の活用
4. 国内販路開拓	9. 設備投資（新規・更新）	14. その他（ ）
5. 海外販路開拓	10. 社員の能力開発	

設問 3-5 設問 3-4 で回答した取り組みを進める上で支障となっていることがあれば、お聞かせください。（自由記述）

--

設問 3-6 経営上の課題について、重要度の高い順に上位 3 位までを番号でお答えください。

1 位		2 位		3 位	
-----	--	-----	--	-----	--

以下からお選びください

1. 設備・店舗等の老朽化または狭さ	5. 求人・人材難	9. 諸経費の増加
2. 原材料・仕入製（商）品高	6. 人件費高騰	10. その他
3. 売上・受注の停滞、不振	7. 競争の激化	（ ）
4. 資金繰り・金融難	8. 生産・販売能力の不足	

設問 3-7 商圏範囲（来街・来店している顧客の居住範囲）について、現在の商圏範囲及び今後重視したい商圏について、上位 3 位までを番号でお答えください。

現在の商圏範囲 売上高に占める割合が大きい順に上位 3 つをご記入ください。	1 位		2 位		3 位	
今後重視したい商圏 重要視している順に上位 3 つを選択してください。現在の商圏範囲と同じ回答でも構いません。	1 位		2 位		3 位	

以下からお選びください

1. 仙台市内	3. 東北地方（宮城県除く）	5. その他国内地域
2. 宮城県内（仙台市以外）	4. 首都圏（一都三県※）	6. 海外（主な国・地域： ）

※東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

設問3-12 立地場所として仙台市をどう評価していますか。以下の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	評価しない	わからない
1. 市場（商圏）の規模	1	2	3	4	5
2. 首都圏等とのアクセスの良さ	1	2	3	4	5
3. 東北各県とのアクセスの良さ	1	2	3	4	5
4. 人脈・ネットワークの構築のしやすさ	1	2	3	4	5
5. 企業間連携のしやすさ	1	2	3	4	5
6. 労働力の確保のしやすさ	1	2	3	4	5
7. 労働力の質の高さ	1	2	3	4	5
8. 用地確保のしやすさ	1	2	3	4	5
9. 賃料が比較的安価	1	2	3	4	5
10. 生活環境の良さ	1	2	3	4	5
11. 総合評価	1	2	3	4	5

設問3-13 ビジネスを行う上での仙台市の強み・弱みや将来性・不安点について、お気づきのことがありましたら自由にお聞かせください。（自由記述）

4 人材に関すること

設問4-1 直近3年間（2022年以降）の人材の応募状況及び採用状況の全体感について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 求める人材・人数の応募があり、採用できている
2. 求める人材・人数ではないが、応募があり、採用できている
3. 応募はあるが求める人材・人数ではないため、採用していない
4. 応募がない
5. 採用活動を行っていない
6. その他（ ）

設問4－2 現在の人材の過不足状況について、以下の区分ごとに最もあてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

		不足	やや不足	適正	やや過剰	過剰	わからない	該当業務なし
年代	若手	1	2	3	4	5	6	7
	中堅	1	2	3	4	5	6	7
	ベテラン	1	2	3	4	5	6	7
業務内容	①経営企画	1	2	3	4	5	6	7
	②内部管理	1	2	3	4	5	6	7
	③財務・会計	1	2	3	4	5	6	7
	④情報システム	1	2	3	4	5	6	7
	⑤研究開発・設計	1	2	3	4	5	6	7
	⑥営業・販売・サービス	1	2	3	4	5	6	7
	⑦生産・運搬	1	2	3	4	5	6	7
全体		1	2	3	4	5		

<用語説明>

年代	若手 中堅 ベテラン	業種や組織の基準に照らしてご回答ください。
業務内容	①経営企画	経営計画の立案、新しい分野・市場への進出、リスク管理、外部との折衝等、企業の「経営」全般を統括する業務。
	②内部管理	総務・人事、そのほか社内の部署間の調整・統制等を担う業務。
	③財務・会計	財務・会計の管理、経理を担う業務。
	④情報システム	自社のホームページの管理、受発注システムの管理等、経営全般におけるIT活用や、企業内のシステム管理を担う業務。
	⑤研究開発・設計	既存の製品・サービスの高付加価値化やコスト低減を担う業務。 新製品・サービスの開発・設計を担う業務。
	⑥営業・販売・サービス	自社の製品・サービスの取引や営業を担う業務（法人向け・個人向けを含む）。 販路開拓やマーケティングを担う業務。
	⑦生産・運搬	製品の製造や運搬等を実地で担う業務。

設問4－3 設問4－2の「年代」、「業務内容」のうち、それぞれ特に不足している人材をお答えください。

【年代】 最も不足している年代1つに○ ※年代の定義は業種や組織の基準に照らしてご回答ください

1. 若手	2. 中堅	3. ベテラン
-------	-------	---------

【業務内容】 人材が不足している業務内容の上位3位までを番号でお答えください

1 位		2 位		3 位	
-----	--	-----	--	-----	--

以下からお選びください

1. 経営企画	3. 財務・会計	5. 研究開発・設計	7. 生産・運搬
2. 内部管理	4. 情報システム	6. 営業・販売・サービス	

設問４－４ 直近３年間（2022 年以降）の人材の定着・離職状況について、以下の区分ごとに最もあてはまるものそれぞれ１つ選び、番号に○をつけてください。

		離職者はほとんどいない	離職者は一部いるが、経営に大きな影響はない	離職者が多く、経営に悪影響が出ている	担当業務なし
年代	若手	1	2	3	4
	中堅	1	2	3	4
	ベテラン	1	2	3	4
業務内容	①経営企画	1	2	3	4
	②内部管理	1	2	3	4
	③財務・会計	1	2	3	4
	④情報システム	1	2	3	4
	⑤研究開発・設計	1	2	3	4
	⑥営業・販売・サービス	1	2	3	4
	⑦生産・運搬	1	2	3	4
全体		1	2	3	

設問４－５ 働き方に関する制度や評価の実施状況について、以下の区分ごとにあてはまるものをそれぞれ１つ選び、番号に○をつけてください。

		実施している	一部実施している	検討中	実施予定なし
勤務・休暇制度	1. フレックスタイム制度 ※1	1	2	3	4
	2. 時差出勤制度	1	2	3	4
	3. テレワーク制度	1	2	3	4
	4. 正社員短時間勤務制度	1	2	3	4
	5. 有給休暇取得促進策	1	2	3	4
	6. 従業員の副業・兼業制度	1	2	3	4
評価・処遇制度	7. 人事評価制度の整備	1	2	3	4
	8. 職務等級制度の導入 ※2	1	2	3	4
	9. 職能資格制度の導入 ※3	1	2	3	4
育児・介護等支援	10. 育児と仕事の両立支援（法定以上）	1	2	3	4
	11. 介護と仕事の両立支援（法定以上）	1	2	3	4
	12. 病気の治療と仕事の両立支援	1	2	3	4
その他	13. 研修制度、資格取得制度	1	2	3	4
	14. 越境学習制度 ※4	1	2	3	4
	15. 1on1 ミーティング	1	2	3	4

※1 「フレックスタイム制度」とは、一定の期間についてあらかじめ定めた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることのできる制度のこと。

※2 「職務等級制度」とは、社員の職務や業務によって等級を設定し、人事評価を行う制度のこと。

※3 「職能資格制度」とは、職務遂行能力により従業員を格付けする人事評価制度のこと。

※4 「越境学習制度」とは、所属企業に戻ることを前提として、一時的に越境先（所属組織と組織文化が大きく異なるスタートアップ、NPO 等）において良質な経験をすることで、新たな視点やスキルを身に着けること。

設問 4－6 人材に関する課題について、お聞かせください。(自由記述)

--

5 デジタル化に関すること

設問 5－1 デジタル化に向けた現在の取組状況について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。なお、選択肢は取り組み段階が低いものから高いものの順番に並んでいます。

※ここでの「デジタル化」とは、通信や IT ツールの導入、事業で得られる社内のデータや外部のビッグデータの活用、IoT や AI のほか、CAD/CAE 等でデジタル設計技術を活用した開発生産工程の改善により、自社の業務の一部/全部を改善することを指します。

1. 紙媒体や口頭をベースとした業務を行っており、デジタル化には取り組めていない
2. アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している
※例：E-mail、表計算ソフトの導入
3. デジタル化による業務効率向上やデータ分析に取り組んでいる
※例：売上・顧客情報や在庫情報等をシステムで管理しながら、業務を効率化
4. デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる
※例：システム上で蓄積したデータを活用した販路拡大や新製品開発

設問5-2 デジタル化に向けた取り組みを進めるにあたっての課題について、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 推進する人材が足りない | 6. 経営者や従業員の意識・理解が足りない |
| 2. 費用の負担が大きい | 7. IT スキル・知識が不足している |
| 3. 具体的な効果・成果がみえない | 8. 業務内容に合った IT 技術・サービスがない |
| 4. 取り組む・検討する時間がない | 9. その他（ ） |
| 5. 何に取り組めば良いかわからない | 10. 特になし |

6 仙台市及び（公財）仙台市産業振興事業団に関すること

設問 6－1 仙台市及び外郭団体である（公財）仙台市産業振興事業団※¹ の下記の施策について、活用（認知）状況等について、以下の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

取組の詳細については、市ホームページ（<https://www.city.sendai.jp/kezai-chose/jigyosha/kezai/bijinesu/kankyo.html>）をご覧ください。



施策名	活用（認知）状況			活用経験がある場合				活用経験がない場合	
	活用経験がある	知っているが活用したことはない	知らない	とても効果があつた	ある程度効果があつた	あまり効果がなかった	効果がなかった	今後活用したい	活用する予定がない
1. 業務効率化支援 （デジタル化や業務効率向けコンサルティング・補助金 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
2. 成長支援 （中核企業輩出等に向けたコンサルティング支援 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
3. 資金調達・事業継続支援 （円滑な資金調達/事業承継セミナー 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
4. 商品開発支援 （新東北みやげコンテスト/御用聞き型企業訪問 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
5. 国内販路開拓支援 （展示会出展支援/バイヤーとの個別マッチング支援 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
6. 海外展開支援 （ニーズ調査・テストマーケティング等支援/助成金 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
7. 人材確保定着支援 （合同企業説明会・マッチングイベント/奨学金返還支援 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
8. 組織力強化支援 （人材獲得等セミナー・コンサルティング/組織開発 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
9. 商店街活性化促進 （一番町四丁目拠点性向上「Bang BAR SENDAI」/店前改善支援 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2
10. 先端技術の活用 （先端技術やデータ利活用による新事業創出/高度 IT 人材育成 等）	1	2	3	1	2	3	4	1	2

施策名	活用（認知）状況			活用経験がある場合				活用経験がない場合	
	活用経験がある	知っているが活用したことはない	知らない	とても効果があった	ある程度効果があった	あまり効果がなかった	効果がなかった	今後活用したい	活用する予定がない
11. デジタル化支援 (IT 人材確保支援/IT 企業プロモーション支援 等)	1	2	3	1	2	3	4	1	2
12. 起業家・スタートアップ支援 (仙台スタートアップスタジオ推進/起業支援センターアシスタでの相談支援 等)	1	2	3	1	2	3	4	1	2
13. リサーチコンプレックス※ ² 形成促進 (ウェットラボ整備/東北大学 IIS 研究センター運営支援 等)	1	2	3	1	2	3	4	1	2
14. 産業集積促進 (企業立地促進助成/ナノテラス利活用 等)	1	2	3	1	2	3	4	1	2

※ 1（公財）仙台市産業振興事業団

仙台市によって平成 8 年 11 月に設立された、仙台都市圏の中核的な中小企業支援機関の一つ。仙台市や東北域内外の支援機関と連携しつつ、中小企業の状況に合わせた、多様な支援を提供しています。（起業支援、経営課題の解決に向けた各種無料相談や IT 導入・利活用支援、人材確保・育成、販路開拓支援、産学連携による新事業展開支援等）

詳細は、団体ホームページ（<https://www.siip.city.sendai.jp/index.html>）をご覧ください。



※ 2 リサーチコンプレックス

一定のエリアに集積している研究機関、企業、大学などがそれぞれの活動を融合させ、異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成等を一体的・統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤です。

設問 6－2 仙台市及び（公財）仙台市産業振興事業団に期待すること、仙台市の経済を発展・活性化させるためのアイデア、ビジネスを行う上で課題となっている制度・規制等についてお聞かせください（自由記述）。

Instagram・Facebook で市経済局の補助金やイベント・ロールモデル企業等を発信しています



仙台市経済局 Instagram



仙台市経済局 Facebook



SENDAI CORE COMPANY Instagram